

巻頭言 脳血管センター開設のお知らせ



脳血管センター長
特任教授 寺田友昭

梅雨明けの待ち遠しい今日この頃ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、昭和大学横浜市北部病院に本年6月より脳血管センターが開設されました。2018年12月に脳卒中に対する予防、治療の重要性が再認識され、脳卒中・循環器病対策基本法が成立いたしました。脳血管センターでは、今後スタッフの増員とともに地域の脳卒中医療を担うべく24時間、365日体制で脳卒中診療に取り組んでゆく予定です。

脳卒中センター長は、昭和大学藤が丘病院より特任教授として昭和大学横浜市北部病院に異動して参りました脳神経外科の寺田友昭が務めます。専門である脳神経血管内治療では国内のパイオニアの一人であると自負しております。指導医番号は9番で、脳神経血管内治療が

日本に導入された当初より約35年間にわたり本治療に携わっております。治療件数も4000例を超え、今でも年間200件を超える高難度血管内治療を昭和大学のみならず、北海道から九州に至る国内の各施設で行っています。また、国内のみではなく、海外の脳神経血管内治療関連の主要な学会でもfacultyを務めています(LINNC、LINNCAAsia、ALICE、WFNS等)。

当センターでは、下記疾患の治療を得意としております。

- 1) 脳動脈瘤：難易度の高い大型脳動脈瘤に対するフローダイバーター、複数ステント組み合わせによる治療を行っており、他府県からの紹介患者にも対応しています。
- 2) 脳動静脈奇形(AVM)：ONYXを用いた塞栓術および集学的治療、特に経静脈的塞栓術を国内で初めて成功させ(Journal of Neuroendovascular Therapy 2019)、現在まで4例を経静脈的塞栓術で根治させています。
- 3) 硬膜動静脈シャント：バルーンカテーテルを用いて静脈洞を温存した状態でシャントのみを閉塞させる新たな手技を開発しています。特に軽症のType Iは拍動性耳鳴りで発症することが多く、根治は困難でしたが、本法で90%以上の割合で根治が得られます。眼科で発見されることの多い結膜充血で発症する内頸動脈海綿静脈洞瘻、耳鼻科で発見されることの多い拍動性耳鳴りの患者さんも御紹介いただければ当センターで精査、加療いたします。
- 4) 頸動脈狭窄症：約1200件という国内最多の治療経験を有し、狭窄症のみでなく慢性期完全閉塞症に対して世界初の治療成功例をJournal of Neurosurgery 2005に報告しています。

脳血管センターへの皆様の御支援、よろしくお願い申し上げます。



- P1. 【巻頭言】脳血管センター開設のお知らせ
P2-3. 専門看護師・認定看護師ご紹介
P4. 七夕祭りを開催しました、当院へのご支援の御礼
P5. 患者さんからのご意見・ご要望
P6. 開院20周年記念誌作成のための写真募集について
編集後記

専門看護師・認定看護師ご紹介

2021年度



★精神看護専門看護師 所属部署：救急外来 田中 直

リエゾンとは、橋渡しや連携、つなぐといった意味を持ち、主に身体疾患を持つ患者さん、ご家族とケア提供する看護師の双方への心のケアをする役割を担っています。

私は、患者さんの表情や声の抑揚を確認しながら「語り」をもとにして、感情表出と存在価値の承認に重点を置き、「生きづらさ」に寄り添うよう心がけています。問題が複雑な場面では、患者さんと看護師との関係形成が難しくなることもあるため、ラポール形成を大切にしています。



★急性・重症患者専門看護師 配属部署：ICU 佐伯 幸栄

急性・重症患者看護専門看護師は、緊急度や重症度の高い患者とその家族、看護師や多職種、組織に対して、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割があります。専門看護師としては新人のため、至らないところが多いですが、皆さんに活用していただけるエキスパートになれるよう、自己研鑽を積んでいきたいと思っております。よろしくおねがいいたします。

★がん看護専門看護師（写真右）

配属部署：総合サポートセンター 脇谷 美由紀

がんやがん治療にまつわる心配ごとがあっても、安心して療養できる方法を患者さんやご家族と一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。

★緩和ケア認定看護師（写真中央）

配属部署：総合サポートセンター 小原 君予

がんに罹患すると、がんになってしまったことやがん治療に伴う様々な症状で、自分らしく生活することを妨げられる場合があります。そのような、がん患者さんやその家族の相談や意思決定に携わり、その人らしい生活が送れるように支援しています。

★がん化学療法看護認定看護師（写真左）

配属部署：外来化学療法室 堀内 淳子

抗がん剤を受ける患者さんに、安全な抗がん剤の投与や安心して治療が受けられるよう副作用のケアを行い、長く上手に抗がん剤治療と付き合っていけるようサポートをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

★老人看護専門看護師/皮膚・排泄ケア認定看護師

配属部署：看護部 佐々木 舞子（写真右）

複雑な健康問題を持つ高齢者のQOLを向上させるための看護でお困りの方、何でもご相談ください。

（意思決定支援、日常生活援助等）

★皮膚・排泄ケア認定看護師

配属部署：褥瘡管理室 小松 美奈子（写真左）

7A病棟 瀬畑洋子（写真中央）

褥瘡などの創傷管理、およびストーマ、瘻孔、失禁などの排泄管理と活動は多岐にわたりますが、そのケアの中心はスキンケアになります。入院中だけでなく、退院後のケアに関しても外来で支援していきます。

ご相談希望の場合は、100番総合サポートセンターにお越し下さい。



毎週火・金曜日午後WOC外来
木曜日は褥瘡外来・フットケア外来
いつでもご相談ください！！



★手術看護認定看護師
配属部署：手術室 小林 真恵



私の活動は、周術期を通して患者のそばに寄り添い、支え、退院後の生活に支障をきたさないための手術室内での活動が主体です。私は、受け持たせていただいた患者1人1人との出会いを大切に、手術看護の質を高められるよう日々活動をしています。

★救急看護認定看護師
配属部署：W2病棟 鈴木千恵子



救急医療現場における迅速な救命技術、トリアージ、災害時対応などを主に実践する看護師です。職員の一次救命処置訓練指導や「急変対応」「災害対策」などいつでもご相談ください。

★集中ケア認定看護師
配属部署：8A病棟 小松崎 渚



重篤な状態にある方に重症化予防や二次的合併症を回避し、早期回復を目指す看護援助を行っています。入院前のその人らしさに近い状態で家庭や社会に復帰できるよう、様々な医療職種と協働し患者さんやご家族と向き合うことを大切にしています。

★感染管理認定看護師
配属部署：感染管理室 福岡絵美



私は、新型コロナウイルス感染症対策について指揮を執ると同時に、あらゆる感染症の拡大防止や、再発防止策を分析・実践・指導する役割を担っております。また、地域の他医療機関や医療系大学への教育・支援も行い、地域全体の安全を目指して幅広く活動しております。

★緩和ケア認定看護師
配属部署：W1病棟 加藤真里



私の役割は、患者さんご家族の体と心のつらさやニーズをいち早く理解し、医療チームに浸透させ、チーム全体で患者さんに適したケアや治療が提供できるように繋ぐことです。これからも患者さんやご家族のつらさが一日でも早く緩和出来るように、努力していきます。

★認知症看護認定看護師
配属部署：W2病棟 伊藤雄一郎



認知症による記憶障害や不安、妄想、その他さまざまな精神症状に寄り添い、患者さんが安心して入院生活を継続できるよう援助を行っています。また、都筑区認知症連絡会に参加し、地域と連携した退院後の支援が継続できるよう、活動しています。

★小児救急看護認定看護師
配属部署：手術室 安藤美奈子



子どもの健やかな成長発達のため、家族も含めて支援しています。現在は手術室で活動しています。何かありましたら、ご相談ください。

★新生児集中認定看護師
配属部署：NICU/GCU 斎藤治代(写真右)
菅本章子(写真左)



NICUは治療の場であると同時に養育の場でもありません。私たちは、新生児や家族にとって「やさしいケア」とは何かを考え提供しています。新生児とその家族の始まりを支えることができるよう日々試行錯誤しています。



【お知らせ】七夕祭を開催しました



7月7日の七夕に合わせて、中央棟1階ホスピタルストリートに七夕用の竹を設置しました。当院の裏山から切り出した高さ5メートルの大きな竹に、色とりどりの短冊が飾られ、院内の雰囲気華やかになりました。

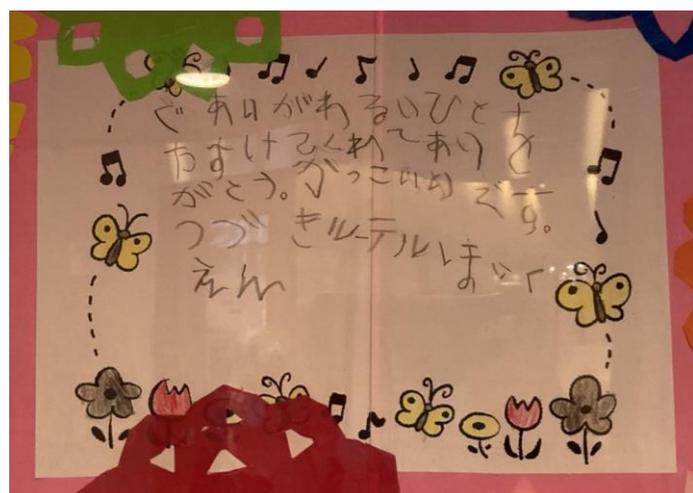
七夕当日、横浜市のお天気はあいにくの曇り空で、天の川を見ることは出来ませんでした。華やかに飾り付けられた竹をみることで、夏の訪れを感じていただけたのであれば幸いです。



当院へのご支援の御礼



〈城南信用金庫様と当院職員〉



〈つづきルーテル保育園からいただいたメッセージカード〉

引き続き多くの方から当院にご支援をいただいております。
飲食物や日用品のほか、病院職員への心温まるメッセージもいただいております。
城南信用金庫様からはお弁当や菓子のご寄付を、つづきルーテル保育園からは病院職員への心温まるメッセージを、いただきました。
当院へのご支援の詳細は中央棟1階130番（放射線受付）横の掲示板や、当院ホームページに掲載しております。
(<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>)

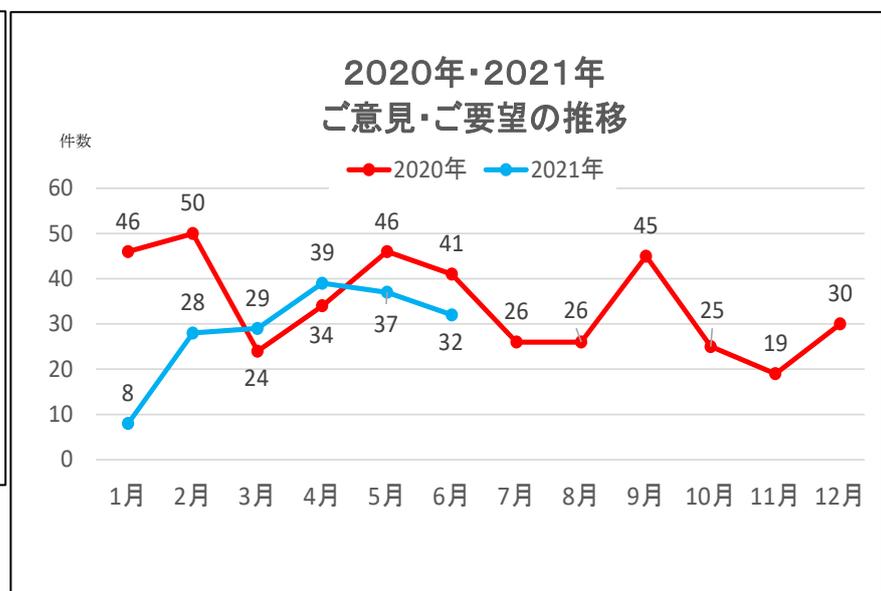
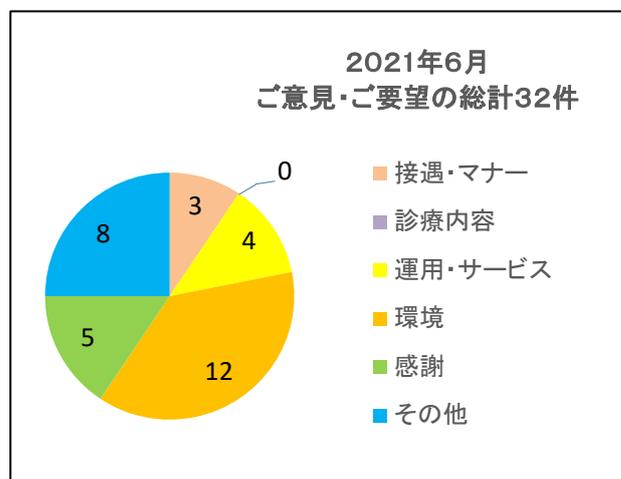
患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<p>280番受付のまわりに人が密集することが多いです。 何とかありませんか。 通行もしづらいし、危ないです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 280番（処置、採血、採尿）受付について、採血の順番待ちで混雑が目立つため、密集することがないように順番をご案内するモニターを分散して2台追加いたしました。 採血をされる患者さんには、なるべく1か所に集まらず分散してお待ちいただけるよう、ご案内してまいります。 (回答部署：臨床病理検査室、管理課)</p>
<p>病院内にWi-Fiを設置してください。 ご検討お願いします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 現在、Wi-Fiを設置する方策を検討しております。準備に時間を要するため、今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。 (回答部署：管理課)</p>



【お知らせ】

開院 20 周年記念誌作成に伴う病院周辺の写真募集について

当院は 2020 年に開院 20 年目を迎えました。20 周年を記念して発行する記念誌のために、開院から現在までに当院周りで撮影された写真を募集します。

退院等の際に医師や看護師と記念撮影した写真や、当院で開催したイベント等に参加した際の写真など、お手持ちの写真に当院や当院職員が写っているものはありませんか？

ご提供いただける写真をお持ちの方は、以下までご連絡いただけますと幸いです。

【問い合わせ先】

管理課 企画庶務係

電話：045-949-7000（代表）



編集後記

毎日、暑い日が続いていますね。夏本番を迎え、皆様、いかがお過ごしですか。

マスク生活が続いているため、熱中症にはくれぐれも注意して下さい。マスクを着用することで、心拍数や呼吸数、体感温度が上昇するなど身体に負担がかかる事があり、高温、多湿と言った環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなる可能性があります。水分補給、睡眠、バランスの良い食事などなど、普段以上に気を配って体調を崩さないようにしましょう。

また、今年の話題といえば東京オリンピック・パラリンピックです。二度目の方、初めての方どちらもいらっしやると思います。色々な想いを語り合えるといいですね。

皆様、暑さとコロナに気をつけながら、お健やかに過ごして下さいませ。

（薬剤部 木村祐子）

北部病院だより 第158号
2021年8月1日発行

発行責任者 門倉 光隆 (昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。

